

歴史ある家に生まれた私は

家格に泥を塗らないよう常に努力や研鑽を怠らないよう生きてきました

幼いころから両親に言われるままに
習い事を習い

両親の言われるままの進路を歩む

そのことに何の疑問も抱かず
それこそが正しいのだと思い込んでいました

…数か月前までは

7⁰121212





お待たせして、
申し訳ありません

ご主人様♡

そんな常識を壊して
くれたのがご主人様です

ご主人様の調教により成績や
家柄に何の価値もなく

雄に仕えることこそ
雌の最高の幸せなのだ
と教えていただきました



あっ♡

ご主人様は私の都合や用事など
お構いなしに電話一本で
私を呼び出すと

無言で私に向かって大きな
ちんぽを突き出してくる

ああ…♡

すてい

ご主人様の
おちんぽがっ♡いい

はー♡♡

うっど

うず
うず

はー♡♡

むね
あ…

たくましいその姿にもう
頭の中はちんぽのこと
しか考えられません

今すぐ乱暴に犯され、
おまんこぐちゃぐちゃに
してほしくなります



はぁ♡

んっ♡

むしやぶりつきたい
気持ちを抑えながら
おちんぼの前に跪き

ですが、まずは
ご奉仕からです

それではお掃除
させていただきますね

忠誠を誓うよう
2度キスをします

たっ♡

ちゅ♡

スリッ
スリッ

そのまま、ゆっくり
傷つけないよう優しく口に含み



瞬間口の中一杯に
脳を突き刺すような
雄の臭いで満たされる

んぶうっ♡

んぶう♡
んつくう...♡

んっ♡

ふっ♡

ふう♡

あむっ

ちゅっ



ご主人様のおちんぽ♥

ご主人様の匂い

これ、きつと昨日お風呂入ってない

どろどろの汗と濃厚なチンカスが溜まって

絶対女の子に嗅がせちゃダメなやつ♥

むに

ぬるっ♥

ぬるっ
ぬるっ

...ふあ

んんう♥

んっ♥



んっ...
ふう♡♡

おひんひん...んっ♡
おいひい♡♡

んっ、ああ...♡

んっ♡

ふう♡

ふう♡

カリ裏にたまったチンカスを
宝物を扱うみたいに

口の中で転がして

先端から漏れ出る我慢汁を
丁寧にお掃除♡

むに

じ

じゅぽ
じゅぽ

我慢できずこっそりと
おまんこをいじっています

イ奉仕の途中だというのに...

ですが、どろどろの体液を
飲み込むたびに膣から愛液が零れ

おまんこをいじる手を
止められません♥

んっ♥

はぁ♥

はぁ♥

ぐっ
ぐっ

くっ
♡

むに





そうこうしていると、
半勃ちだったおちんぽが

私の口には収まりきらないほどに
大きくなっています

バキバキにそびえたったそれで
私の顔をぺしぺしと叩く

それは挿入の
準備が整った合図

あっ♡

はい♡

す、すぐに準備しますね

ビキ
ビキ

ゴクッ



んっ♡

どうぞ

ご主人様♡

おまんこもアナルも
準備できてますから、

はぁ♡

好きな穴を
ご利用ください♡

私はご主人様が
勃起ちんぽを入れやすいよう

女の子が絶対
取っちゃいけない

まんこもアナルも
丸出しのちんぽポーズで
ご主人様をお誘いします

ぬちゅっ

くぱぁ



はあ♡

ほら見てください♡

どうですか

はあ♡

おまんこのほうは
雌汁どろどろ垂れ流して

ちょうど今はめ頃
になってますし

アナルのほうは入り口は
ぷっくりしてますが

中に入れたらおちんぼ啜えて
離さないきつうーい
仕上がりになってますよ

ちゅぷっ

とろお



あっ♡

んう♡

ふむっ…

あっあっ…

私のHなところ
見られて…

に、におったり
しないかな

っうう…

恥ずかしい

くちゅ♡

じいっ

ご主人様は品定めするように
私の恥ずかしい穴を見つめる



産毛まで見える距離で
おまんこをじっくり観察され

アナルのしわを数えるように
引っ張られる

ドキ
ドキ

ですが、もちろん腰を
逃がしたりはしません

むしろ
腰を浮かして

ご主人様にこれからハメる穴を
しっかり吟味していただきます

い
い
い
い
い

みちい



ああ♡

はあ♡

はあ♡

あっ...

ああっ♡

ようやく

はめてもらえる♡

ドキドキ

ふんふん♡

ズルズル

今日はどうやらおまんこを
犯すことに決めたようです

そして、熱い肉棒を
膣に押し付けられて





はあ

はあ

情けなく潮を
垂れ流す

ちんぽを入れてしまえば
女の子は何の力も持たない

雌になるしかないのだと
思い知らされます

ぐり

ガッ

淑女が出すべきではない
汚い喘ぎ声を発し

一瞬でおまんこが陥落



おっ

おおっ

おう

おまんこっ
いくっう!!

子宮口押し広げ
られてえ♡

いくの
とまんないっ♡

ズルチュ

ズル
チュ

ズル
チュ

これえっ...
すごおい

ご主人様のお
おちんぼ



ですが、ご主人様に
だけ動かせて

自分は快楽を
与えてもらうだけ、という
わけにはいきません

んっ

ああ

あっ

乱暴に私を組み伏せ

私がいつでもお構いなしに
おまんこをかき回す

まるで自分がオナホに
なったみたいです♥

ズル
チユ

ズル
チユ

ズル
チユ



はあ

はあ

んんっ♡

も、申し訳…
ありません♡

雌穴の分際で

私ばかり気持ちよく
してもらって

すぐにおまんこ
締め付けて、
おちんちん
気持ちよくしますから

グハ♡

みちゅっ…

ズリユッ



んっ♡

が♡♡♡

ど、ど、どですかあ♡

このぐらいで
よろしいでしょうか

ご主人様が気持ちよく私の
膣でオナニーできるよう

頑張っておまんこ
締め付けます

みちゅ...♡

ぐっ...
んっ...
んぎいいっ

おっ♡

おおっおっ♡

んっ♡



んっ♡

ぎゅん♡

本当ですか♡

ご主人様♡

そしたら、そんな私の頑張りを

ご主人様が褒めてくださりました

めすっ

コッ♡

あっ♡

ああ...
中々、気持ちいな

ふう♡





ご主人様あ♡

んっ♡

もう、我慢
できないです♡

はあ♡

はあ♡

ぐちゅっ

お金はいくらでも
払います

責任も取らなくて
いいですからあ

コッ♡



私のおまんこに
ご主人様の精子

どうか、
お願いします

んっ♡

はあ♡

はあ♡

無責任種付け
してください

ぐちゅっ

雌奴隷の分際で
浅ましくおねだり

ですが、寛大なご主人様は
受け入れてくれます♡

コッ♡



んんう♡

あっ♡

あっ♡

んっ♡

んう…
あはあ♡

ご主人様のおちんちん
お腹の奥
当たって…

ちゃほっ♡

きゃん♡

私の子宮、ご主人様の
赤ちゃん孕もうと
完全に降りて
きちやってます♡



だから…

ご主人様あ♡

私の身体もう
準備できてますから

あっ♡

あっ♡

んっ♡

だから、一緒に♡

くちゅ♡

くちゅ♡

くちゅ♡





はあ♡

んっ♡
こんなに
たくさん…

ありがとうございます♡
ございます♡

はあ♡

またHしたく
なったら
いつでも呼び出して
くださいね♡

おまんこたっぷり濡らして
すぐに駆け付けますから♡

ニほお

ビショッ
お…

















































